

きらきらと輝いている元気の素



「みの〜れに関わるようになって楽しいことだらけ、沢山の方にも出会えた。声を掛け合って芸術展を沢山の方に見ていただきたい」と語る保田さん

みの〜れ芸術展実行委員会委員

保田しづ子さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.38

もうすぐ梅雨が明け、楽しい夏がやってくる。賑やかな蝉時雨の中、涼しげな木陰が恋しいこの季節。夏祭りのお囃子の音色が遠くから聞こえ優しい気持ちになれる。ここ「四季文化館（みの〜れ）」では8月に「第7回みの〜れ芸術展」が開催される。お友達に誘われてみの〜れ芸術展実行委員として活躍している部室地区に住む保田しづ子さん取材する。

若い頃に立てた 人生設計

保田さんは若い頃に人生設計をある程度立てた。子どもたちが大きくなって巣立って行った時の事も充分に頭に入れて、自分自身「何かを極めたい」と思った。花嫁の持つブーケを作るのが夢だったので、フラワーアレンジメントを習い始め打ち込んだ。その努力が実り自宅でフラワーアレンジメント教室を開いている。口コミで広がり、多くの生徒さんと楽しいひと時を過ごしている。「何か、趣味を持ち打ち込むことによって楽しい老後が送れるはず・・・」と保田さんは笑顔で話す。保田さんの自宅からすぐの所にある幼稚園の園児を招待して、花育と食育を兼ねて年一回アレンジメント教室を開催している。「小さな器にオアシスを

入れて、庭に咲いている花や野の花を準備しておくの。小さな手で上手に活けるのよ。子どもたちは活けた花をお土産に持って帰るの」と楽しそうに話してくれた。また、「食育も兼ねて手作りのお菓子も用意しておやつに出してあげると美味しそうに食べてくれてね」と話してくれた。子どもたちの喜ぶ顔が目に浮かび私まで優しい気持ちになった。家の業の花香園での仕事の合間を縫って、加工クラブ（麦の穂）でベーコンや中華まん作りに参加したり、8月には茨城県の事業でリーダー育成会（女性の感性を生かす）が筑波大学で開かれ参加する。8月末に行われる「ふるさとふれあいまつり」の前夜祭では、よさこいソーランで活躍する保田さんの姿が見られる。趣味や特技を生かし、ボランティアや地域のために活動し、きらきらと輝いている保田さんの元気の素は、若

い頃にある程度立てた人生設計のおかげのようだ。芸術展の実行委員会は、みの〜れの実行委員会の中では、三本の指に入る大所帯である。小美玉市の合併の前から、小川、玉里の方も委員に加わり活動を始めた。「最初は緊張していたが、今は皆、大の仲良しでアイデアや役割分担とかスムーズに運んでいる」と保田さん。「みの〜れに関わるようになって楽しいことだらけで、関わるようになって沢山の方に出会えた。色々やっている、いつも違った友達と接する事が出来たそれがまた、楽しい・・・。芸術展を沢山の方に見ていただき、多くの方と出たい」と保田さん。今回は、仲村無門先生と田口孝子先生の素晴らしい油絵を展示いたします。期間中、体験教室やギャラリートークを予定しておりますのでお友達を誘って是非お越しください。（藤田佐知子）